

函館市子ども会議 開催報告書

函館市子ども未来部子ども企画課 2023.3

1 函館市子ども会議の概要

① 函館市子ども会議について

函館市子ども会議は、函館市子ども条例に基づき、子どもたち自身が、子どもに関係する施策やまちづくりに関すること等について話し合い、意見発表することで社会参加してもらうことを目的として開催するものです。

② 参考「函館市子ども条例」(平成28年4月1日施行)

この条例は、子どもや子育て家庭の支援に関する理念条例であり、市の責務や保護者、学校、住民、事業者の役割を明らかにするとともに、市の施策の基本となる事項を定めています。

>>第18条(子どもの社会参加)

市は、子どもに関係する施策について子どもが意見を表明できるようにするなど、子どもが社会参加をする機会を設けるよう努めます。

2 令和4年度函館市子ども会議の開催

① 開催日時・場所

日時：令和5年2月21日(火) 13:10～14:30

場所：函館市立えさん小学校 体育館

② 参加者

函館市立えさん小学校の6年生9名が参加しました。

③ 出席者

函館東商工会 事務局長 畠山 晴一

函館市恵山支所産業建設課 主査 松本 光隆

④ テーマ

「もっと多くの人に恵山つつじまつりに来てもらうためには？」

函館市子ども会議の開催までに、子どもたちは事前学習や恵山支所産業建設課職員による出前講座、地域の方への聞き取りなどを通じて、恵山つつじまつりに関する知識・提案内容を深めていきました。

函館市子ども会議当日は、3人1組の3グループに分かれ、各グループごとに子どもたちが考えた提案内容を発表しました。

⑤ 子どもたちからの意見

5 ページからの「函館市子ども会議 意見発表内容」のとおり

3 令和4年度函館市子ども会議の様子

A グループ発表



B グループ発表



C グループ発表



函館市子ども会議

意見発表内容

A グループ

提案① いろいろな種類のツツジの展示会をする

僕たちは、恵山のツツジをもっと有名にしたいと考えています。そして、たくさんの人に恵山のツツジを見に来てもらい、恵山のツツジの良さを知ってもらいたいと思います。

そのために、僕たちが考えた提案は、「いろいろな種類のツツジの展示会」をすることです。

僕たちが調べたところ、恵山つつじ公園に咲いているツツジは、「エゾヤマツツジ」と「サラサドウダン」の2種類だということが分かりました。

この2種類のツツジは、僕たちがいつも目にしているツツジで、正直、ツツジにはこの2種類しかないと思っていたのですが、調べてみたところ、ツツジには、約400種類もあることが分かりました。

そこで、恵山つつじ公園で咲いている品種以外のツツジも展示し、ツツジという花のことを、もっといろいろな人に知ってもらったうえで、恵山つつじ公園で咲いているツツジの良さや魅力を味わってもらいたいと考えました。

他の種類を知ったからこそ、改めて、恵山のツツジの良さに気付くことができると思います。

他地域での取り組みについても調べました。

有名な沖縄の「美ら海水族館」の横にある「熱帯ドリームセンター」では、コロナ禍前まで、珍しいツツジの鉢植えを100鉢ほど展示する人気のイベントを開催していたそうです。直近3年間は開催していなかったようですが、今年は3月に、またツツジの展示会をするということが分かりました。

このように他地域の事例を参考にすると良いと思います。

しかし、ツツジの実物をすべて用意するのは難しいので、色々なツツジの写真と、そのツツジの説明を書いて展示すれば良いと思います。そして、実物の展示が可能なものは数個、鉢植えを展示すれば良いと思います。

場所は、恵山つつじ公園で展示したいと考えたのですが、北海道で管理している自然公園であるため展示するのは少し難しいと思いました。

そこで市で管理している恵山コミュニティセンターなら、実物のツツジを鉢で展示できると思います。恵山コミュニティセンターから、恵山つつじ公園までの距離は5.2kmで車で8分くらいだと思われます。

ぜひ、検討してみてください。

出席者からのコメント

- ・ 展示会の開催は、恵山のツツジを知ってもらうために非常に意義のある企画で面白い。
- ・ 仮に実施する場合は、ツツジの鉢植えを所有している近所の方々など地域住民も交えて取り組んでいけると思う。
- ・ 鉢植えをどう用意するのか、つつじまつり期間終了後にそれをどうするのかという点も考えてみてほしい。

- ・ パネル展であれば、実物はなくとも写真を展示し、恵山と他地域のツツジの相違点を来場者に説明することができる。
- ・ 展示会の実施にあたっては、恵山つつじまつり実行委員会の中で精査して、事業効果等を勘案したうえで、実施可能かを検討することになる。

A グループ

提案② 今人気の北海道出身の芸能人をゲストに呼ぶ

僕たちは、恵山のツツジをもっと多くの人に知ってもらうためには、まず、恵山つつじまつりの知名度を上げて、たくさんの人に来てもらう必要があると考えます。

そのために、僕たちが考えた提案は、「今人気の北海道出身の芸能人をゲストに呼ぶ」ことです。

「旭川冬まつり」では、小島よしおさん、狩野英孝さん、アントニオ猪木さん、とにかく明るい安村さん、どぶろっくさんなど、人気の芸人さん達が毎年のようにゲストになっています。

それに対し、恵山つつじまつりでは仮面ライダーやウルトラマンのような人気のキャラクターが来ている年もありますが、小さい子どもしか興味がないので大人やシニアの人はあまり楽しめていないと思います。

「はやりの有名人が来ていない」という口コミもネットに書かれていました。

昨年の夏には、静岡県の三嶋大祭りに、大泉 洋さんがゲストで参加し、大変盛り上がったそうです。

こうしたことから、M-1 グランプリ 2019, 2020, 2022 ファイナリスト, 2021 準優勝のお笑いコンビ「オズワルド」の畠中さんは、戸井出身で恵山と近いので、来てくれる可能性が高いと考えました。オズワルドをゲストに呼ぶことで、恵山つつじまつりの知名度を上げ、恵山を知ってもらったり、恵山に来てもらったりするきっかけになると思います。

ぜひ、検討してみてください。

出席者からのコメント

- ・ 人気芸能人に恵山つつじまつりに来てもらうためには大きな経費がかかるだろう。
- ・ 人気芸能人を目当てに、函館市内・市外から大勢の人が恵山つつじまつりに来場することが予想され、イベント会場の広さ、駐車場の確保、道路の渋滞、警備員の配置等多くの問題が発生するため、これらの問題の解決方法を考える必要がある。
- ・ 人気芸能人との交渉窓口や恵山との共通点等についても、事前の調査が必要である。

B グループ

提案① 「ニンゲン観察バラエティ モニタリング」の「透明カラオケBOX」を設置する

私たちは、今以上に恵山つつじまつりを盛り上げたいと思っています。新型コロナウイルス感染症の影響などで、近年では、祭りの規模は縮小されていることもあり、お客さんも少ないです。

でも、新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきたので、今年はお祭りを盛り上げ、たくさんの人にきてほしいと考えています。

そのために、私たちが考えた提案は、「ニンゲン観察バラエティ モニタリング」の「透明カラオケBOX」を設置することです。

これは、TBS テレビで放送している「ニンゲン観察バラエティ モニタリング」という番組の中にある一つのコーナーです。

過去の恵山つつじまつりでは、ラジオの公開録音があった 2011 年までは、5 万人以上のお客さんが来ていましたが、公開録音がなくなった年から、お客さんが大幅に少なくなりました。

こうしたことから、テレビやラジオなどを呼ぶと、お客さんが増え、盛り上がるのではないかと考えました。

そして、コロナ禍の前は、いろいろなお祭りでカラオケ大会が、行われていました。

カラオケ大会の開催がコロナ禍で難しくても、この「透明カラオケBOX」ならできると思います。

このテレビ番組では、インターネットで透明カラオケBOXを設置したい商店街を募集しています。番組ホームページに掲載されている申込フォームに必要事項を書いて送信することで申し込みができます。

そして、私たちは、透明カラオケBOXを、「なとわ・えさん」の入り口前の広場に設置すると良いと思います。理由は、「なとわ・えさん」なら駐車場が広く、また、カラオケBOXを見に来た人が帰りに道の駅に寄って、買い物をすることもできるからです。

出席者からのコメント

- ・ 集客効果がどのくらいになるのかわからないが、集客効果が期待できるのであれば検討し、PR方法を考える必要がある。
- ・ 「なとわ・えさん」での設置で、帰りに道の駅で買い物をしてもらおうという考えは良い狙いだと思う。

B グループ

提案② ツツジの花を使った制作体験コーナーを設置する

私たちは、たくさんの人に恵山のツツジを身近に感じてほしいと思っています。

今までは、恵山つつじ公園に咲いているツツジを見ることだけしか、ツツジとふれあう場面はありませんでした。

そこで、ツツジの花を使ったハーバリウムづくりを体験できるコーナーを作ったら、多くの人にツツジをもっと身近に感じてもらえると思います。

ハーバリウムとはガラスの可愛い小瓶にお花をオイルづけしたもので、若い人に人気があります。

私たちも、このような制作体験をやってみたいと強く思っているのですが、私たちと同じように、ツツジの花で制作体験ができるなら、つつじまつりに行きたいと思う人もいます。このように、ハーバリウム体験をやっているイベントは、探すとなんかありません。

そして、体験場所は恵山コミュニティセンターの中が良いと考えました。

理由は、室内であれば、天気や気温に左右されることなく体験を楽しむことができるからです。

ハーバリウムで使うツツジの花についてですが、恵山つつじ公園は自然公園なので、公園内に咲いている花を採取することができないことから、小学校の校地内に咲いている花を使ったらよいと思います。

体験料金の設定は、1,000円以下にできるよう大人の方々の力を借りたいです。

ぜひ、検討してみてください。

出席者からのコメント

- ・ ツツジを見るばかりではなく、身近に感じてもらう、あるいは体験してもらうという企画は、とてもユニークで、非常に意義のある企画だと思う。
- ・ 制作体験を指導する人は誰にするのか、材料の入手等解決しなければならない課題も多数あるが、皆さんの協力があれば、実施が可能ではないのかと思う。
- ・ うまくいくと、体験教室だけではなく、お土産品として販売することもできるのではないかと考える。

C グループ

提案① 「恵山の食材を使ったアイディア料理コンテスト」を実施する

私たちは、恵山の魅力をもっとたくさんの人に知ってもらいたいと思っています。そして、恵山の魅力は、美味しい食べ物とキレイなツツジだと考えているので、恵山つつじまつりでは、恵山の魅力をアピールしたいと思います。

そのために、私たちが考えた提案は、「恵山の食材を使ったアイディア料理コンテスト」を実施することです。

私たちは、まず、「恵山の特産品って何かな？」ということインターネットで調べて、話し合いました。その結果、「ごっこ」「たら」「つぶ」「ます」「たこ」「ババガレイ」「恋いちご」などが出てきました。

これらの食材を使った料理で知っている物はあるかを話し合ったのですが、「恋いちご」のお菓子と、「ごっこ汁」の2つしか思いつきませんでした。そこで、恵山の特産品を使った料理は、ほかにどんなものがあるかを調べてみることにしました。

まず、恵山の特産品「ごっこ」を使った料理についてインターネットで調べました。ごっこ汁や鍋、卵とこんにゃくの和え物、唐揚げ、バター炒めといった料理があることがわかりました。

次に、学校近くの飲食店「自由軒」の店主竹内さんに取材をしました。竹内さんからは、恋いちごを使ったシャーベットやソフトクリーム、アイスがあることを教えてもらいました。また、ごっこ料理については、ごっこ汁や炭焼きを教えていただき、その際、「海産物を扱うお店や浜のお母さん方が詳しいかもしれない」と教えていただきました。

そこで、恵山の特産品を使った料理コンテストを開催したら、もっともっと、美味しい食べ方や、アイディア料理の情報が集まるのではないかと考えました。

他の地域の取り組みを調べたところ、静岡県長泉町では、自慢の特産品を利用した、オリジナリティあふれる新しい郷土料理のコンテストを開催したそうです。また、岡山市では高校生が協力して、地元の特産品を使ったアイディア料理を考え、魅力を再確認したそうです。

恵山でもできると思うので、他の地域の取り組みを参考にし、アイディア料理のレシピを募集し、入賞したメニューを、恵山のお店で出したり、チラシを作ったりすると、恵山のことを多くの人に知ってもらえると思います。

「恵山の食材を使ったアイディア料理コンテスト」の実施について、ぜひ、検討してみてください。

出席者からのコメント

- ・ 函館市内ホテルの総料理長で恵山出身の方がいる。そのような方に審査員をお願いするのも良いかもしれない。
- ・ 地元で採れたものを地元で料理して提供すると、それが産物になり、それを目当てに人が来てくれることがあるので、考えようによっては、つつじまつり以外の時期でもお客さんを呼ぶことにつながる良いアイディアだと思う。

C グループ

提案② 「ツツジの造花を使ったアクセサリー作り」を実施する

私たちは、恵山の魅力の一つであるツツジの花をもっと多くの人に身近に感じてほしいと思います。

そのために、私たちが考えた提案は、「ツツジの造花を使ったアクセサリー作り」を実施することです。

ほかのグループでは、ツツジの生の花を使った制作を提案していましたが、私たちは、造花なら、作ったものを長く使えるのではないかと考えました。

インターネットで調べたら、100円ショップで買える道具で簡単にヘアアクセサリーが作れるというサイトがたくさん出てきました。

また、ヘアアクセサリーだけではなく、ブレスレットなども簡単にできるそうです。調べてみたら、造花や押し花を使ったアクセサリー体験教室がありましたので、イベントに取り入れることができると思います。

しかし、造花については、限られた種類のお花しか売られていなく、つつじの造花はなかなか売っていないことが分かりました。

そこで、自分達でツツジの造花を作ることができないか、話し合いました。毎年卒業生に胸花を作っていた方ならツツジの造花を作ることができるのではないかと考え、相談してみました。

すると、ツツジの造花は作ったことがなかったそうですが、ツツジの花の写真を見ながら作ってくださり、私たちに教えてくれました。

花びらが5枚、中心にはめしべとおしべがあり、ツツジの花を再現することができました。また、私たちでも簡単に作れるよう、工夫してくださったので、たくさん作ることができます。

この造花を使い、ヘアアクセサリーやブレスレットなどを作ることができないかと考えています。

開催場所は恵山の道の駅の「なとわ・えさん」の横の広場で屋台を出すことを考えています。

雨が降った場合は、恵山福祉センターの休憩室で行います。

出席者からのコメント

- ・ 制作体験を指導する人は誰にするのか、材料等の入手等解決しなければならない課題も多数あるが、皆さんの協力があれば、実施が可能ではないのかと思う。
- ・ ツツジの花びらの枚数を調べているし、造花の作り方も地元の方に教わって、しっかり形ができています。
- ・ ツツジがない時期でも造花を小学校に飾っておけば、年中楽しめると思う。体験だけではなく、つつじまつり以外のおきに来た人にも「恵山のツツジはこんな感じなんですよ」と見てもらう、おもてなしにもつながると思う。

